



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 大和自動車交通株式会社  
コード番号 9082 URL <http://www.daiwai.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長  
四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 新倉 能文  
(氏名) 加藤 雄二郎  
配当支払開始予定日

TEL 03-6757-7164  
平成26年12月8日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,942	4.0	420	64.6	255	—	103	—
26年3月期第2四半期	8,599	1.1	255	△46.7	14	△92.8	△243	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 186百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △211百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	10.34	—
26年3月期第2四半期	△24.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,527	6,893	29.1
26年3月期	24,384	6,615	26.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,844百万円 26年3月期 6,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
27年3月期	—	1.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	△0.2	650	45.3	350	—	200	△94.0	20.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	10,500,000 株	26年3月期	10,500,000 株
27年3月期2Q	534,290 株	26年3月期	533,554 株
27年3月期2Q	9,965,833 株	26年3月期2Q	9,969,544 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高傾向が続き、企業収益の改善や雇用情勢の好転等、緩やかな回復が続いている一方で、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化、原材料及び燃料価格の高騰、個人消費の落ち込み等もあり、依然、景気の先行きは不透明な状況であります。

ハイヤー・タクシー業界におきましても、乗務員不足による稼働低下等、厳しい環境のもとにありました。このような情勢のもと、タクシー部門は大和自動車交通グループ2,490台の車両が当社の商標（マーク等）を使用して運行しており、東京23区と武蔵野市、三鷹市で利用可能なGPS機能を活用したスマートフォンによる配車を開始し、自動配車受付システム（IVR）と合わせて迅速な自動配車や、大手流通企業イオングループの電子マネー「WAON」カードでの決済サービスを開始するなど、お客様のさらなる利便性の向上と提携各社との相互の発展を目指しております。また、東京都内と成田空港、羽田空港、東京ディズニーリゾートの送迎に便利な定額制での運行も行っております。

当社グループといたしましては各事業の競争力を高め、責任体制の明確化を図るとともに、さらなる成長と収益の確保を目指すものとして、平成26年4月1日より、当社のタクシー事業を分社化し、新たに大和自動車交通羽田株式会社、大和自動車交通江東株式会社、大和自動車交通立川株式会社の3社を設立し、持株会社体制へと移行しており、さらに平成26年10月15日付で公表いたしました「会社分割(簡易新設分割)による子会社設立に関するお知らせ」のとおり新たに会社分割を行い、当社のハイヤー事業の分社化を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,942百万円と前年同四半期比4.0%の増収となり、経費面では依然として燃料価格が高水準で推移し、乗務員募集活動の強化による宣伝広告費の増加がありました。しかしながら、全部門で業務の効率化をはかり、営業利益は420百万円（前年同四半期比64.6%増）、経常利益は255百万円（前年同四半期比1,624.8%増）、四半期純利益は103百万円（前年同四半期は四半期純損失243百万円）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### ① 旅客自動車運送事業

旅客自動車運送事業では、ハイヤー売上高は得意先企業の経費節減と他社との低価格競争の影響により減少し、タクシー売上高は乗務員の営業指導を継続して実施し収益向上を図るとともに、乗務員不足解消の為、募集活動をより一層強化しておりますが、稼働率の大幅な改善とまではいかず、採用乗務員研修費、宣伝広告費や燃料費の増加もあり、旅客自動車運送事業売上高は6,276百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は20百万円（前年同四半期比85.9%減）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業では、前年度に購入しました事業用収益物件が売上に寄与し、不動産事業の強化と収益の増強を進めた結果、不動産事業売上高は514百万円（前年同四半期比29.3%増）、営業利益は265百万円（前年同四半期は営業損失13百万円）となりました。

#### ③ 販売事業

自動車燃料販売部門では、原油価格の高騰やタクシー業界の減車等の影響を受け販売数量は減少する中で、人件費や諸経費の削減に努めるとともに、顧客へのきめ細かいサービスの提供を推進しております。金属製品製造販売部門は、生産効率向上を図り、ISO9001を継続取得し製品の品質向上を進め、原材料価格の上昇もありましたが、販売事業売上高は2,151百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は136百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

(注) 売上高に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は23,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ857百万円の減少となりました。これは現金及び預金が478百万円減少するなどの結果、流動資産が724百万円減少したことによるものであります。

また負債は前連結会計年度末に比べ1,135百万円減少の16,634百万円となりました。これは未払法人税等が333百万円減少するなどの結果、流動負債が648百万円減少、また長期借入金が256百万円減少するなどの結果、固定負債が486百万円減少したことによるものであります。

純資産は四半期純利益103万円を計上した影響から、前連結会計年度末に比べ277百万円増加の6,893百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の26.9%から29.1%に増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、燃料費の動向など先行き不透明なこともあり、平成26年5月15日公表の予想数値を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年4月1日より会社分割(簡易新設分割)により、当社の子会社である大和自動車交通羽田株式会社、大和自動車交通江東株式会社及び大和自動車交通立川株式会社を新規設立しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加算しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が106百万円減少し、利益剰余金が106百万円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,380	1,902
受取手形及び売掛金	1,463	1,416
有価証券	0	0
販売用不動産	3	3
商品及び製品	43	29
仕掛品	5	1
原材料及び貯蔵品	90	65
その他	542	389
貸倒引当金	△42	△45
流動資産合計	4,487	3,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,612	6,460
土地	10,700	10,700
その他（純額）	1,711	1,674
建設仮勘定	-	10
有形固定資産合計	19,024	18,845
無形固定資産		
その他	33	46
無形固定資産合計	33	46
投資その他の資産		
その他	955	999
貸倒引当金	△116	△127
投資その他の資産合計	839	872
固定資産合計	19,897	19,763
資産合計	24,384	23,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	788	678
短期借入金	1,045	1,054
未払法人税等	474	141
賞与引当金	90	103
その他	2,034	1,806
流動負債合計	4,433	3,784
固定負債		
社債	2,295	2,230
長期借入金	6,562	6,306
役員退職慰労引当金	101	106
退職給付に係る負債	1,008	877
資産除去債務	225	226
負ののれん	0	0
その他	3,142	3,102
固定負債合計	13,335	12,849
負債合計	17,769	16,634
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	525	525
資本剰余金	2	2
利益剰余金	6,273	6,468
自己株式	△265	△265
株主資本合計	6,535	6,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	90
退職給付に係る調整累計額	△43	24
その他の包括利益累計額合計	29	114
少数株主持分	50	48
純資産合計	6,615	6,893
負債純資産合計	24,384	23,527



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,599	8,942
売上原価	7,781	7,916
売上総利益	817	1,026
販売費及び一般管理費	561	605
営業利益	255	420
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	5	6
負ののれん償却額	0	0
受取車検費用	3	2
その他	16	19
営業外収益合計	26	30
営業外費用		
支払利息	120	104
退職給付会計基準変更時差異の処理額	76	76
シンジケートローン手数料	2	2
その他	68	12
営業外費用合計	267	195
経常利益	14	255
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	8	2
固定資産撤去費用引当金繰入額	345	-
特別損失合計	353	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△338	252
法人税、住民税及び事業税	66	118
法人税等調整額	△161	32
法人税等合計	△94	150
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△243	101
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△243	103

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△243	101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	17
退職給付に係る調整額	-	68
その他の包括利益合計	32	85
四半期包括利益	△211	186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211	188
少数株主に係る四半期包括利益	0	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△338	252
減価償却費	354	387
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	69	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	43
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	120	104
シンジケートローン手数料	2	2
社債発行費	26	-
固定資産除売却損益(△は益)	7	2
固定資産撤去費用引当金の増減額(△は減 少)	345	-
売上債権の増減額(△は増加)	144	47
たな卸資産の増減額(△は増加)	8	42
長期前払費用の増減額(△は増加)	△107	13
前払費用の増減額(△は増加)	△23	68
仕入債務の増減額(△は減少)	△95	△109
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15	287
未払費用の増減額(△は減少)	33	△141
前受収益の増減額(△は減少)	32	△3
長期預り金の増減額(△は減少)	148	△11
その他	△56	△4
小計	652	1,003
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△127	△105
シンジケートローン手数料の支払額	△2	△2
固定資産売却関連費用の支払額	△345	-
法人税等の支払額	△149	△428
営業活動によるキャッシュ・フロー	33	474

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△66	△43
定期預金の払戻による収入	24	25
固定資産の取得による支出	△5,604	△122
固定資産の売却による収入	0	-
固定資産の除却による支出	△5	△244
長期貸付けによる支出	-	△13
長期貸付金の回収による収入	3	2
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
その他	△16	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,672	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	151	△20
長期借入れによる収入	4,450	234
長期借入金の返済による支出	△401	△460
社債の発行による収入	973	-
社債の償還による支出	△5	△65
自己株式の取得による支出	-	△0
セール・アンド・リースバックによる収入	201	-
リース債務の返済による支出	△237	△244
配当金の支払額	△14	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,116	△571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△522	△497
現金及び現金同等物の期首残高	2,254	2,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,732	1,781

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	旅客 自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,215	398	1,985	8,599	-	8,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	94	525	633	△633	-
計	6,228	492	2,511	9,233	△633	8,599
セグメント利益又は損失 (△)	144	△13	123	254	1	255

(注)1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	旅客 自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,276	514	2,151	8,942	-	8,942
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	210	509	739	△739	-
計	6,295	725	2,661	9,682	△739	8,942
セグメント利益	20	265	136	421	△1	420

(注)1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による影響は軽微であります。